

Numéro TOKYO

ゲームチェンジャーが
やって来た!

JANUARY/FEBRUARY 2017

ヌメロ・トウキョウ

定価720円(税込)

103

時代を変えるのは誰!?

ジェイデン・スマスという神童
常識を覆せ! 気鋭クリエイターたちの仕事

ファッショニスタが狙うのは
カラー! フラワー! 80s!

Tシャツがモードになった

2017年の仕事、恋愛、マネー運をすべて上げる!
ムーン・リーの運命を予言する
星のお告げ

後藤真希
愛娘と一緒に初登場!
ヌードなマギーの輝き

世界を超える男、MIYAVI

Game Changer



140

genuine mode
田中杏子のリアル・モード
vol.70 *dreaming of spring*

春らしい色鮮やかなルックを
2017年リゾートコレクションより厳選ピックアップ。
フランス大使館公邸の庭に展示されていた
20世紀を代表する建設家ジャン・ブルーヴェの
『F 8×8 BCC独立住宅』
(Yusaku Maezawa Collection)にて
初のファッションショーティングを敢行。
タイムレスな魅力を放つ歴史的美術品のなかで、
春の息吹を表現する。

Photos : Motohiko Hasui

モダンに刷新された ドーリーガール

マーク ジエイコブスは、「パラダイス」をテーマに柔やかなスタイルを提案。フローラルとドット柄モチーフを丁寧に描いたジガードに
よるラップカラースリーブドレスは、どことんブリ
ンセスライクなデザイン。ビッグシルエットに
よるマキシ丈のロングスカートもおしゃれ空間気を
宿した。ドレス￥548,000 ブーツ￥80,000
／ともにMarc Jacobs(マーク ジエイコブス
カスタマーセンター)

[P 8×8 BCC独立住宅] 外観



ミニマルなラインによって
引き立つ端正な美しさ

軽く柔らかいシルエットを適度にしたドレガーヴィネ
タにこだわる、エレガントなレザーデザイン。背みの
あるレザードレスのレースアップに、イットのスカート
は、腰元にさりげない高級感をもたらす。ドレ
ガーヴィネ ¥228,000 ドレカード ¥100,000 バンブ
ス 優秀作品 下べてBoutique Gucci (ボッテ
ガリエーナ ジャパン)

袖手 | ピクターアームナエア(11)

かつてのイギリス情景を
シックに表現

ディオールはパリのエスプリに、英國スタイル
を掛け合わせたコレクションを発表。被写体的
背景を描いたプリント柄のセッティングはコッ
トン&ウルジニアガード素材によった高級さ保
ちながらもリラックスムードあふれるスタイル
に。トップ ¥170,000 スカート ¥115,000
ブレスレット ¥280,000 ブレスレットに着い
たスカーフ ¥23,000 シューズ ¥135,000/
すべてDior(クリスチャン・ディオール)

キャビネット [BAキャビネット No!50]





建築&デザインの偉大なる先駆者 ジャン・ブルーヴェの世界

まさに伝説。あの巨匠の幻の作品が日本初公開される——。
会場で撮影されたファッショントリー(p.140 ←)に続いて
その偉大な功績と、展示に込めた“ある人物”的想いを解き明かそう。

Edit & Test: Keita Fukawa

ジャン・ブルーヴェ。あのル・コルビュジエをして住宅作品を「世界で最も美しい」と言わしめたフランスのデザイナー／建築家。マーク・ジェイコブスやブランド・ピットもファンに名を連ねるその功績は、生産から組み立て工程まで統合的にデザインし、建築と家具デザインに革新的な進歩をもたらしたこと。特に先駆けてアルミニウムを建材として採用、工場で部品を製造し現場で組み上げる方法論を確立するなど、その作品はレンジ・ビアノやジャン・ヌーベルら現代のスター建築家にも影響を与えている。そして自らのOZO TOWNを開拓するは公社社員トゥディの創業者、前澤友作氏もまた、その魅力に心惹かれた一人だった。「オフィスの会議室用に、オリジナルの『スタンダードチェア』を買ったのが最初でした。ブルーヴェの魅力はなんといっても造形美。鉄と木がうまくバランスされていて……どの角度から見てもこんなに美しいチエアは他にありません」。今回、会長を務める公益財団法人現代芸術振興財団の貴重なコレクションを公開したのも、その素晴らしいを多くの人に伝えたい一心から。展示の中でも世界に2点しか現存しない「F 8x8 BCC 組立住宅」は、第二次大戦中の資材不足下で木材を用いながら、二人で組み立てができるアレフ法の先駆者。自らを介の工員と位置付け、建築家ならぬ「Constructor(建設家)」と称したブルーヴェの世界——。技術と機能、そして美との融合に厚く始平への扉が、ここに開かれたのだった。

『the CONSTRUCTOR

ジャン・ブルーヴェ:組立と解体のデザイン

10月2日～24日(終了) フランス大使公邸(東京都港区南麻布) 主催: 公益財団法人現代芸術振興財団 在日フランス大使館 アンセリ・デュ・フレンセ日本 助力: ハトリック・セガン・ギャラリー 3日間900名限定マドレーヴィエの家具約80点と「F 8x8 BCC 組立住宅」および資料を展示した。左から時計回りに: 日本初公開の「8x8 BCC 組立住宅」(1941年) の外観と、本住宅のためにデザインされた豪華な展示室や、公邸内に設けられた展示室より。ブルーヴェ建築を象徴するコピス型、門柱のワーム建材と、家具の展示風景。(すべて© Contemporary Art Foundation and Galerie Patrick Seguin. Photo by Kuri Nishida)



ジャン・ブルーヴェ (1901～86) デザイナー／建築家。フランス・パリ生まれ。全工業化を経てアトリエ設立。家具や建物の工業的生産システムの先駆者として、その功績はなかなか評価せない。左上:「グリダン・カフェテリア」組立テーブル (1951年 左下:「スタンダードチェア」の名で知られる名前:「アドロボーンNo.315」(1953年頃)ともに: Galerie Patrick Seguin 右: ジャン・ブルーヴェのポートレート Collection Famille Prouvé ©ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo 2016 C1235 Photo: Photographe de l'artiste/Adagp Images/DNPercom

南国キュートと フランスの融合

キュートとパリからスピレーショント相手
シャキル。試験カラフルドレスは、南国ムード
が運びたデザイン。ホワイトのハイビン
グによる袖ディテールによってレディライクな
エレガスもひと味。ドレス¥1,390,000
ブローチ¥17,000 バングル¥66,000
すべて(hanai(シャキル))

Fashion Director: Aiko Tanaka
Hair makeup: Hiroko Ishikura
Edit: Yukino Takakura
Fashion Assistant: Nozomi Ushibata
Special Thanks to Contemporary Art Foundation,
Galerie Patrick Seguin, Ambassade de France à
Tokyo